

第2学年 道徳学習指導案

大野小学校2年 児童7名 授業者 喜井良江

1 総合単元名 「広げよう 思いやりのわ」

2 総合単元について

少子高齢化・情報化・国際化など、子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化している。また日々のニュースでいじめ問題・不登校・子どもが巻き込まれる事件等々、さまざまな問題を伝えているのを目にする度、人間関係が希薄になってきているのを感じる。人は周りの人々とかかわり、支え合って生きている。現代の社会を生きていく子どもたちに必要なものとは、人と人の温かいつながりや、相手に対して思いやりの心をもつことだと考える。

本校は過疎化の波を受け、年々子どもの数が減ってきている。幸い大野校区は、昔から地域の人々のまとまりが強く、学校教育に対する期待は大きい。子どもたちは、地域の宝として大切にされている。しかし、周りからしてもらうことを当たり前のように思い、感謝する気持ちが薄いように感じる。子どもたちが地域の宝であるように、子どもたちにとっても家族・友人・地域の人々は宝である。周りの人から大切に思われ、支えられている自分に気付かせることにより、宝と思われている自分自身を大切にしていこうとする心情を育てたい。そして、周りの人に対しても感謝と思いやりの心をもち、優しく接していこうとする態度を養いたいと考え、総合主題を「みんな たからもの」と設定した。

本学級の子どもたちは、幼稚園から一緒に過ごしてきた仲の良い7人である。ごっこ遊びや一輪車、ボール遊びなどをして元気に遊んでいる。お話し好きで、教師の周りに集まってきては自分のことや日々の出来事などを楽しそうに話すなど、元気で積極的なところがある一方で、教師の指示がないと動けなかったり、大勢の前では声が小さくなってしまったりするという場面も見られる。子どもたちは、行事などで地域の人々とふれ合う機会が多い。そこで、周りの人にかかわる時、相手の気持ちを考えて自分にできることを進んで行えるようになれば自信につながり、これからも積極的に活動し、よりよい人間関係を築いていけるであろうと考えた。

1学期は、友達の大切さについて学ぶことを通して、友達の良さやありがたさを再発見し、これからも仲良く助け合って生活していこうとする態度を養っていきたいと考え、総合単元「つなげよう ともだちのわ」を設定し取り組んできた。

2学期の総合単元名は「広げよう 思いやりのわ」とした。2学期は敬老会や運動会、地域で行われる祭りへの参加や、学校近くの支援ハウスに住む高齢者との交流会など、地域の人たちとふれあう機会がたくさんある。このような本校の地域性を生かし、家族や周りの人たちから大切にされているという実感をもち、思いやりの心をもって自分にできることは何かを考え、積極的に人にかかわっていこうとする態度を養いたい。

また、3学期の総合単元名は「たいせつにしよう いのち」とする。自分は支えてくれている多くの人たちによって守られ生きているのだということに気付かせ、生命を大切にしようとする心情を育てたい。

3 単元構想表

広げよう 思いやりのわ
身の周りの人に対して思いやりの心を持ち、自分にできることを進んでしようとする態度を養う。

音 楽	・演奏するのは楽しいな。
みんなで合わせて	・みんなと上手に合わせたい。

※ は
地域とのかかわり

生 活	・お世話になった人にあいさつできたよ。
こんなすてきな町なんだ	・働いている人がたくさんいるんだな。

学校行事
いもほり
・苗を植えたいものがこんなに大きくなったよ。
・仲よし班のみんなで協力していもをほったら、たくさんとれたよ。

生 活
ふれあい会
・1年生と協力してふれあい会を成功させるよ。
・1年生が困っていたら、優しく声をかけるよ。

生 活
支援ハウスとの交流
・あいさつや司会をきちんとして、ほめられたいな。
・おじいちゃんおばあちゃんに優しくしたいな。

	11月8日	11月16日(本時)	11月22日	11月29日
主 題	学校 大好き	思いやる心	ありがとう	あたたかい心
資 料 名	へいきだよ	ほくは2年生	おとしたなわとび	こみち
出 典	学研	県副読本	県副読本	光村図書
内 容 項 目	4-(3) 愛校心	2-(2) 思いやり・しんせつ	2-(4) 感謝	2-(2) 思いやり・しんせつ
ね ら い	先生や学校の人々に親しみを持ち、進んで学校を楽しくしようとする心情を育てる。	身近な幼い人に対して思いやりの心をもって親切にしようとする態度を養う。	日頃世話になっている人に対する感謝の気持ちを育てるとともに、それを具体的な行動に表そうとする態度を養う。	高齢者に温かい心で接し、親切にしようとする態度を養う。
心のノート	P46・47	P39	P44・45	P39

常時活動	・仲よし班活動	・ありがとうの木	・ヨッシー卵集め
------	---------	----------	----------

4 本時の学習

(1) 主 題 名 思いやる心

(2) 主題設定の理由

<ねらいとする価値について>

2 - (2)	身近にいる幼い人や高齢者に温かい心で接し、親切にする。
---------	-----------------------------

子どもたちは、人と人のかかわりの中で成長していく。このかかわりの中で、思いやりの心をもって人に接することは、よりよい人間関係を築く上で大切である。思いやりとは、相手の立場や気持ちを理解しようとする心であり、困っていたり悩んでいたたりする人を見過ごすさず、自分にできることをしようと努力する行為を伴う心情でなければならないと考える。

徐々に人間関係が広がっていくこの時期に、家族や友達などの身近な集団から自分より幼い人や高齢者にも目を向け、だれに対しても温かい心で接していこうとする態度を養いたいと思い、この主題を設定した。

<子どもの実態>

授業や学校生活の場で、幼稚園や1年生の子どもたちとかかわることの多い2年生。1年生とはちょうど7人同士で、男女の割合も同じである。授業では一緒に図工や体育、音楽を学び、休み時間には校庭で仲良く遊ぶ姿が見られる。また、生活科では1年生と2年生混合のペアを作り、活動が重なる場面で一緒に行動している。子どもたちの様子を見ていると、野菜の苗を上手にポットから取り出して渡したり、自分が知っている曲の弾き方を鍵盤ハーモニカで教えたりとお兄ちゃん、お姉ちゃんらしく振る舞えているところもある。

しかし、教師に言われてから動くことが多く自分から進んで手助けができていないことは少ない。幸い子どもたちには、今までの学校生活で上級生に優しく教えてもらったり、助けてもらったりした経験があり、自分も親切にしたいという気持ちをもっている。その優しい気持ちを引き出し、誰に対しても思いやりの心をもって温かく接していこうとする態度を養いたい。

<資料について> 資料名「ぼくは2年生」(出典 県副読本)

よしおは、学校へ急いで行っている途中、道端で泣いている1年生のみつ子ちゃんが目にとまる。みつ子ちゃんは近所の子でよく知ってはいるが、一緒に登校したことはない。泣いているみつ子ちゃんを見たが、「だれかがきくと見てくれるだろう。」と思って、見て見ぬふりをしその場を通り過ぎる。しかし、「ええい、だめだ。」と考え直して引き返す。そのような行動にいたるまでの心の葛藤をとらえさせるとともに、何度も言葉をかけみつ子ちゃんの気持ちに寄り添い、自分にできる精一杯の優しさを行動に移したよしおの気持ちを考えさせることで、ねらいにせまりたい。

(3) ね ら い

幼い人に対して思いやりの心をもって親切にしようとする態度を養う。

(4) 展 開

□指導上の留意点 ●評価

学 習 活 動	主な発問と予想される子どもの意識	指導上の留意点と評価		
1 写真を見て話し合う。	<p>○これは何をしているときの写真ですか。このときどんなことを感じましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さつまいもがたくさんとれたので嬉しかった。 ・仲よし班のみんなで掘って楽しかった。 	<p>□活動の写真を提示し、ねらいとする価値にかかわる意識がもてるようにする。</p>		
<p>2 資料「ほくは2年生」を読み、よしお君の気持ちについて話し合う。</p> <p>・迷っているときの気持ち</p> <p>・何度もみつ子ちゃんに話しかけているときの気持ち</p> <p>・「ありがとう」と言われた時の気持ち</p>	<p>○お話を聞いて、どんなことを思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつ子ちゃんをたすけてえらい。 ・よしお君はやさしい。 <p>○迷っているよしお君が「ええい、だめだ」と決心するまでの心の劇をしましょう。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><声をかけない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールがしたい。 ・誰かが声をかけるだろう。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p><声をかける></p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれも来てくれなかったら困るだろうな。 ・泣いているのに、ほうっておけない。 </td> </tr> </table> <p>○よしお君は、どんな思いでつぎつぎとみつ子ちゃんに話しかけているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何とかして、学校につれて行こう。 ・ぼくがいるから、大丈夫。 ・みつ子ちゃんの力になりたい。 <p>○みつ子ちゃんに「おにいちゃん、ありがとう」と言われて、よしお君はどんな気持ちになったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みつ子ちゃんが元気になってよかった。 ・優しくするのって、自分も嬉しくなる。 ・みつ子ちゃん、うれしそうだな。 	<p><声をかけない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールがしたい。 ・誰かが声をかけるだろう。 	<p><声をかける></p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれも来てくれなかったら困るだろうな。 ・泣いているのに、ほうっておけない。 	<p>□初発の感想を発表し、自分の感じたことを素直に表現させる。</p> <p>□声をかけようとするまでのよしお君の気持ちを考えさせることにより、みつ子ちゃんを見過ごせない思いに共感できるようにする。</p> <p>●みつ子ちゃんに声をかけることを決めたよしお君の気持ちに共感できたか。</p> <p>□一生懸命話しかけるよしお君の優しい気持ちに気付くことができるようにする。</p> <p>□親切にすると、相手だけでなく自分も気持ちがいいということに、しっかりと気付くことができるようにする。</p>
<p><声をかけない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドッジボールがしたい。 ・誰かが声をかけるだろう。 	<p><声をかける></p> <ul style="list-style-type: none"> ・だれも来てくれなかったら困るだろうな。 ・泣いているのに、ほうっておけない。 			
3 自分の生活について振り返る。	<p>○自分もよしお君のように、小さい子に親切にしたことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月祭りの鳴り物をするのが初めての1年生に、鳴らしかたを分かりやすく教えてあげた。 ・机を移動させるのが重そうだったので、手伝った。 ・学校探検の時、はぐれないように気をつけた。 	<p>□自分の生活を振り返り、優しくできた経験を話すことにより、自分のよさに気付くことができるようにする。</p> <p>●自分の生活を振り返ることができたか。</p>		
4 本時のまとめをする。	<p>○1年生からみんなに手紙がきています。</p>	<p>□手紙を読み、これからの生活で幼い人に親切にしようとする実践への意欲付けを図る。</p>		